

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 5年 6月21日	作成部局名	こども健やか部	担当部局名			
-----	-------------	-------	---------	-------	--	--	--

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	01 子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち	担当課	児童青少年課	
		担当課		
		担当課		
施策	03 児童・青少年の育成環境の充実	関係課		
		関係課		
		関係課		
施策の目的	児童・青少年が心身ともに健全に成長するために、家庭・地域・学校・行政が一体となり、児童・青少年の育成環境の充実や整備を図ります。			

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み	プリムローズ管理運営事業
取り組み	こどもの国管理運営事業
取り組み	学童保育室事業
取り組み	放課後子ども教室事業
取り組み	青少年の居場所事業
取り組み	
取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標） <CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値							
				当初値	R3	R4	R5	R6	R7		
児童センター年間延べ利用者数（中高生）	中高生の年間延べ利用者数 (実績から前年比1.0%増で推計)	人	28,869	26,927	17,807	22,231					
青少年の居場所の年間延べ利用者数	青少年の居場所の年間延べ利用者数 (実績から前年比0.6%増で推計)	人	1,555	1,492	1,260	1,779					
豊かな心を育む青少年の育成に関する満足度	満足している市民の割合 (過去の実績のすう勢値により設定)	%	19.7	17.1	22.1	-					
その他施策の取組事項に係る成果											

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>○戸田市では駅の周辺など今後も児童数の増加が見込まれる地域があり、公立学童保育室では待機児童が発生する可能性がある。令和4年度当初は芦原小学童、南小学童、こどもの国学童で待機児童が計30名発生した。令和4年度中に民間学童保育室を1室誘致したことから、令和5年度当初は待機児童は8名に減少したが、今後も需要に合わせた待機児童対策が必要である。また、学童保育室では保育の質の向上が求められている。</p> <p>○放課後のこどもの居場所として、児童センター、青少年の居場所事業、青少年の広場事業について拡充が求められている。</p> <p>○放課後子ども教室及び青少年の居場所を運営するにあたり、スタッフが十分ではない。特に放課後子ども教室はコロナ禍で令和2～4年度は中止となったため、スタッフの減少が続いている。こども達が安心して楽しく遊べるよう、安定したスタッフの確保が必要である。</p>	対応策	<p>○学童保育の需要が高い地域に民間学童保育室の誘致を検討し、公立学童保育室の建替時に定員を増加して建築する。また、保育の質の向上では巡回アドバイザーの活用やリーダー制の研究を行う。さらに、公立学童保育室に民間活力の導入（人材確保による安定した運営及び民間企業のノウハウの反映）を行う。</p> <p>○児童センターに軽体育室や自習席、スタジオを広く周知し、中高生世代の利用を促進する。また、青少年の居場所の開催回数を増やし、青少年の広場については適切な修繕や新たな場所の研究を行う。</p> <p>○放課後子ども教室及び青少年の居場所について、広報、HP、大学を通じてスタッフを募集し、安定した運営を行っていく。</p> <p>○教育政策室、教育総務課との連携を図りつつ事業を実施する。</p>
----	--	-----	---



# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 5年 6月21日	作成部局名	こども健やか部	担当部局名	
-----	-------------	-------	---------	-------	--

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果										担当部局の評価		
		事業コード		事業区分	R4決算額		R5予算額	R6計画額	評価結果					施策内優先度	コメント	
					事業費	うち一般財源			強 靱 化 計 画	総 合 戦 略	事 業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 へ の 貢 献 度			経 費 水 準
		人件費														
	02	青少年健全育成事業		任意	9,054		-	-	1	○	B	A	B	B	B	今後事業の在り方を整理していく。また、子どもたちに様々な体験環境を提供する事業への新たな補助金を検討する。
			12,712													
		01   10   04   03   01   02	13,955													
		青少年に対する各種啓発事業や地域の巡回補導を実施し、			13,955											
	03	青少年の居場所事業		任意	16,239		-	-	1	○	A	A	A	B	A	ボランティアスタッフの拡充を推進し、安定的な運営を図っていく。また、居場所の拡充の一環として、青少年の居場所の開催増加や、新たな青少年の広場の研究を行う。
			18,758													
		01   10   04   03   01   03	30,066													
		市内公共施設に指導員を配置して青少年の居場所として開			30,066											
			4,569													
計 (千円)												R4決算額	R5計画額	R6予算額		
										事業費	1,002,876	1,047,350	1,265,666			
										うち一般財源	596,959	662,664	779,407			

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
 7 令和6年度で終了    8 令和5年度で終了    9 令和4年度で終了